安全に検査を受けていただくためのお願い

胃部X線（胃バリウム）検査受診に関してご確認ください

胃部X線（胃バリウム）検査には様々な副作用等が発生する場合がございます。以下の内容に該当する方は原則ご受診いただけません。

症状・状態等	受診不可	主治医確認※1	検査当日判断※2
バリウムアレルギーがある	○		
当日血圧180/110 以上	○		
妊娠中または妊娠の可能性がある	○		
体重125kg 以上	○		
検査当日にインスリン注射を打った・糖尿病薬を服用した	○		
インスリンポンプ・持続皮下グルコース測定器を装着中	○※3		
ひとりで立てない /検査台で体位を変えられない	○		
検査当日の時点で便秘3日以上	○		
透析・糖尿病・腎疾患・心疾患のため水分制限がある	○		
透析・糖尿病・腎疾患・心疾患のため水分制限がない		○	
炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・大腸憩室炎・クローン病等）で症状がある	○		
炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・大腸憩室炎・クローン病等）で症状がない		○	
腸閉塞・腸捻転の既往がある（幼少期を除く）	○		
嚥下障害がある	○		
大腸ポリープ切除2か月以内	○		
1年以内に消化器（食道・胃・十二指腸・肝臓・胆のう・膵臓・小腸・大腸）、骨盤腔の手術を受けた（内視鏡・腹腔鏡・帝王切開を含む）		○	
炎症性腸疾患以外の上部・下部消化管疾患で通院加療中		○	
メニエール病で検査当日に症状がある方			○
ぜんそくで検査当日に症状がある方			○
心臓疾患・脳疾患（てんかん含む）の既往があり、1年以内に発作があった			○
過去のバリウム検査で誤嚥・排泄困難があった方、重度のアレルギー体質の方			○

※1 主治医の判断によって受診できる場合がございます。　※2 当日の状態によって受診できる場合がございます。
※3 ご自身で取り外せる場合はご受診いただけます。

◎検査後お渡しする下剤は、必ず服用し1週間ほどは水分を多く摂ることを心がけてください。

安心・安全な検査のため、細心の注意を払って施行しております。上記の内容をよくご確認いただいたうえ、表面の同意書へ署名をお願いいたします。

内視鏡検査を受けられる方へ

― 検査の説明と同意書 ―

【検査目的】 鼻や口から上部消化管（食道・胃・十二指腸）にスコープを挿入し、各部位の炎症・腫瘍・ポリープ・潰瘍などの有無や程度を調べます。咽頭反射が強い場合や、ゲップが我慢できない場合、十分な観察ができないことがございます。鎮静剤を使用して（眠った状態）の検査は実施しておりません。

【内視鏡の消毒について】 当クリニックでは、1回の検査が終了するたびに、厚生労働省の指定した消毒剤・消毒方法にて使用した検査機器の消毒を行っております。感染症の有無に関わらず、安心して検査をお受けいただけます。

【生検（組織検査）について】 小さな早期がんは、炎症との区別が難しく、その診断には組織の一部（数㎜ ）を採取し、顕微鏡で顕微鏡で詳しく調べる必要がございます。生検時の出血を防ぐため、抗凝固剤（血を固まりにくくする薬）を服用している方は、内視鏡担当医の判断で、採取できない場合がございます。クリニックによって実施可否は対応が異なりますので、各クリニックにお問合せください。（※別途料金（3割負担の場合、4 ～ 7千円前後）がかかります。）

●説明事項を読み、理解をしたうえで、検査を受けることに同意します
　☐ はい
　☐ いいえ

●内視鏡検査実施中、生検（組織検査）が必要な病変が見られた場合
　☐ 生検を担当医の判断に任せる（検査費用は健康保険を使用します。）
　☐ 本日、生検は希望しません
　（当日飲酒予定の方は希望しない、を選んでください。）

健診日付：西暦　　年　　月　　日

ご署名（自書）